

Japanese A: literature – Higher level – Paper 2
Japonais A : littérature – Niveau supérieur – Épreuve 2
Japonés A: literatura – Nivel superior – Prueba 2

Monday 7 November 2016 (afternoon)
Lundi 7 novembre 2016 (après-midi)
Lunes 7 de noviembre de 2016 (tarde)

2 hours / 2 heures / 2 horas

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is **[25 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[25 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[25 puntos]**.

次の問題から**1つ**を選んで、小論文^{エッセイ}を書きなさい。その際、「パート3：ジャンル別学習」で学んだ、**少なくとも2作品**に言及しなさい。パート3の2作品を使用していない場合は減点となります。なお、小論文を書くにあたっては、必ず作品の類似点と相違点を**比較・対比**すること。

物語・小説

1. 物語や小説の中で、語り手はどのような役割を果たし、また、どのような影響や効果を与えているか、少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、具体例をあげて論じなさい。
2. 物語や小説の登場人物はよく「告白」という形で自身について語っています。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、「告白」がどのように使われ、どのような効果をあげているか、具体例をあげて論じなさい。
3. 物語や小説においては、直接的ではなく間接的な表現を用いることが作品としての効果を高めている場合があります。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、その意義と効果について具体例をあげて論じなさい。

随筆・評論

4. 随筆や評論には、常識をひとつの思想として疑う姿勢が見られるとよく言われます。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、常識がどう扱われ、また、それがどのような効果をもたらしているか、具体例をあげて論じなさい。
5. 随筆や評論は型にとらわれず自由に書いた方が良いという人がいる一方、型があった方がわかりやすい文章を書くことができるという人もいます。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、具体例をあげて論じなさい。
6. 「文学的文章はレトリックなしでは立ちゆかない。しかし、レトリックは、思考の表現である評論とは無縁だ。」という意見に賛成しますか。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、自分の考えを論じなさい。

詩歌

7. 詩には人生の一瞬を描くものや、長い時間の流れを壮大に描くものがあります。少なくとも2人の詩人の作品を比較・対比しながら、このような時間の扱い方とその効果について具体例をあげて論じなさい。
8. 詩人はそれぞれ独特な詩風を持っていますが、それはどのようにして作り上げられるのか、また、それはどのような効果を持つのか、少なくとも2人の詩人の作品を比較・対比しながら、具体例をあげて論じなさい。
9. 詩の中で使われている言葉や表現には、いくつかの異なる解釈ができるものがあります。少なくとも2人の詩人の作品を比較・対比しながら、このような技法がどう効果的に使われているか、具体例をあげて論じなさい。

戯曲

10. 劇作家の中には、さまざまな手法を使い、観客をただ観ているだけでなく、積極的に劇の世界に引き込んでしまう人がいます。このような手法の使い方とその効果について、少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、具体例をあげて論じなさい。
 11. 舞台では実際には演じられない出来事や行動が、時としてその作品の主題を伝えるうえで、重要な意味を持っていることがあります。劇作家がこのような手法をどう使い、主題やストーリーの展開にどのような効果を与えているか、少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、具体例をあげて論じなさい。
 12. 劇中で使われる登場人物間の対話は、戯曲にどのような影響を与え、また、どのような効果をもたらしていますか。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、具体例をあげて論じなさい。
-